

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	旭区
学 校 名	大阪市立高殿南小学校
学校長名	藤本 栄一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立高殿南小学校では、第6学年 26名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数・理科、3教科すべてにおいて大阪府平均・全国平均を上回ることができた。
平均正答率は、全国平均と比べ、国語が8.2ポイント、算数が10.0ポイント、理科が8.9ポイント上回っている。平均無回答率は、全国平均と比べ、国語が3.0ポイント、算数が3.1ポイント、理科が2.8ポイント下回っており、すべての教科においてあきらめずに粘り強く問題に取り組むことができている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の領域すべてにおいて、大阪府平均及び全国平均を上回ることができた。児童質問紙の「国語の授業の内容はよく分かりますか」の肯定的回答が88.5%であることから、国語への関心が高く、また授業も充実していることが裏付けられ、日常の学習で、自分の考えをペアやグループで交流し、深めていく学習を各教科で進めており、その積み重ねが結果につながっていると考える。

〔算数〕

学習指導要領の領域すべてにおいて、大阪府平均及び全国平均を上回り、特に「B図形」は全国平均より15ポイント上回る結果であった。学力向上支援チーム事業で指導法の研修を進めながら、算数科において、学習の進め方を統一しており、交流を通して互いに学び合う学習の構築を進めてきたことが結果につながっていると考える。

〔理科〕

学習指導要領の領域すべてにおいて、大阪府平均及び全国平均を上回り、特に『B区分「生命」を柱とする領域』は全国平均より16.3ポイント上回る結果であった。協働的な学習をすることで思考力が深まり、それが結果につながっていると考える。

質問調査より

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目は、肯定的な回答が全国平均を上回った。協働的な学習を全学年で取り組んでいることをはじめ、外部講師を招聘した体験活動を実施したり、夢や目標に向かってがんばることの大切さを様々な場面で伝えてきたりするなど、これまでの取組の成果が肯定的な回答につながった。

また今年度は「自分には、よいところがあると思いますか」の項目についても、大阪府平均及び全国平均を上回った。教科に関する調査での全国平均を越える結果を含め、児童それぞれの頑張りを児童自身がしっかり認識しており、自尊心の向上につながっている。

今後の取組(アクションプラン)

- ・本校は、長年にわたって国語科を研究し、その後は算数科の研究に取り組んできた。国語科や算数科の授業づくりをする中で、児童が主体的に学習に臨む姿や、よりよい解決方法を目指し協働して思考する姿、解決し活用できたときの充足感あふれる表情に触れることができた。今後もこれまでの指導を継続して、児童一人一人の可能性を十分に引き出したいと考えている。
- ・学習したことが実生活に役立つことを児童が実感できるよう、他教科や領域と関連付けた指導を工夫する。
- ・児童にとって「楽しい学校」になるように、行事の方法や内容取り組み方を工夫し、達成感や成就感を味わわせることで、自己肯定感の向上に努めたい。

【 全体の概要 】

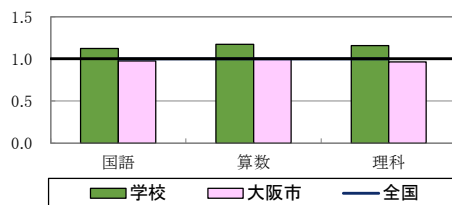
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	75	68	66
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

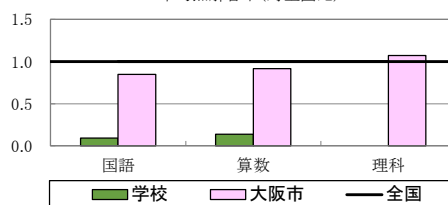
平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	0.3	0.5	0.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



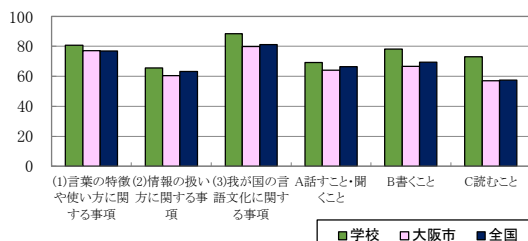
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	80.8	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	65.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	88.5	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	69.2	64.0	66.3
B 書くこと	3	78.2	66.7	69.5
C 読むこと	4	73.1	56.9	57.5

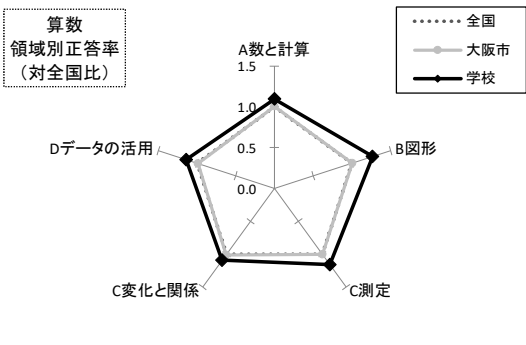
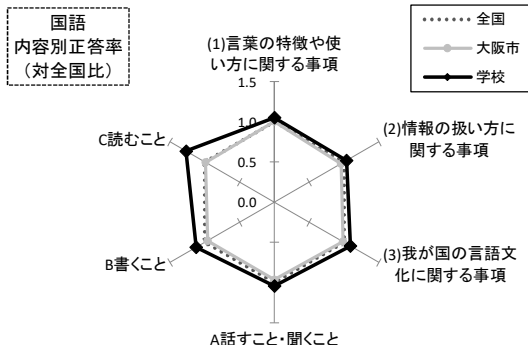
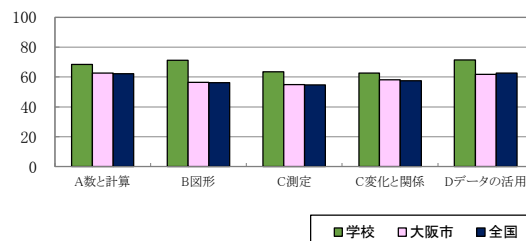
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	68.3	62.7	62.3
B 図形	4	71.2	56.4	56.2
C 測定	2	63.5	54.9	54.8
C 変化と関係	3	62.8	58.2	57.5
D データの活用	5	71.5	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

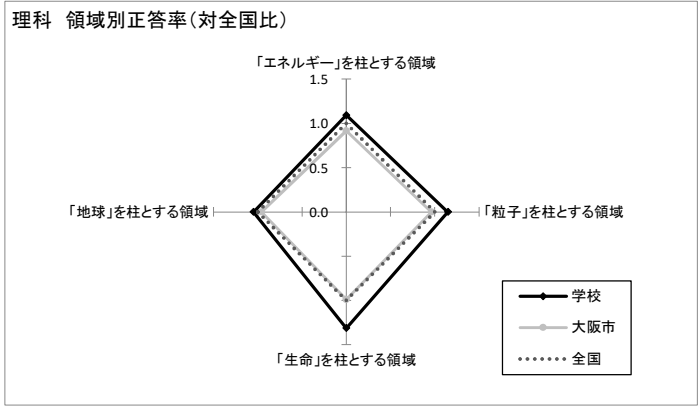
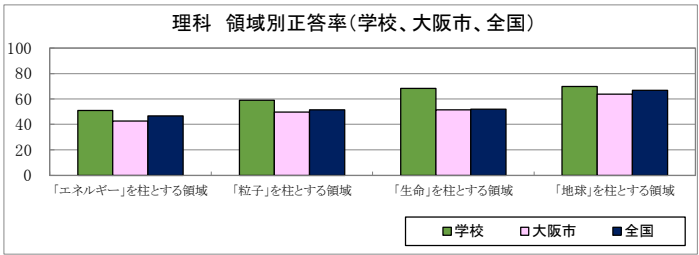


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	51.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	59.0	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	68.3	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	69.9	63.8	66.7



児童質問より

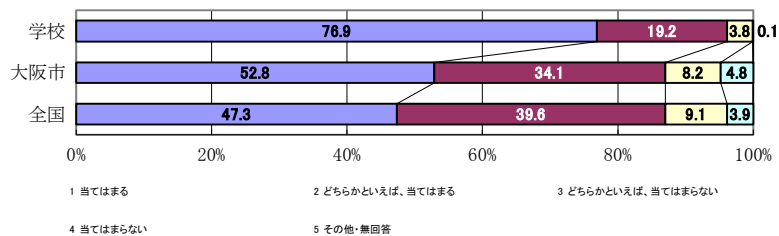
質問番号

質問事項

5

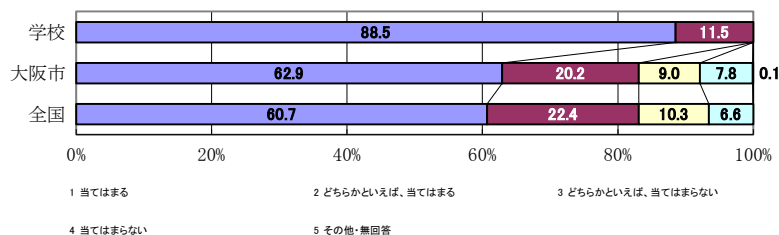
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



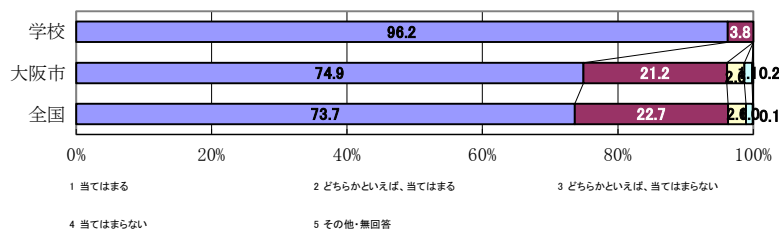
7

将来の夢や目標を持っていますか



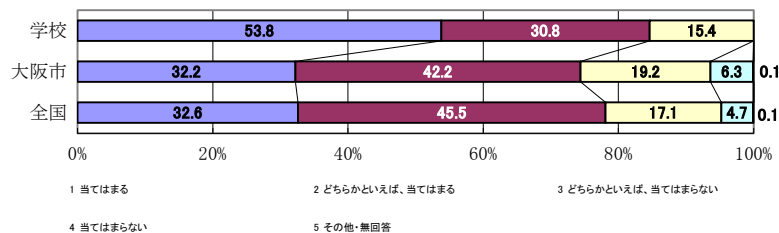
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



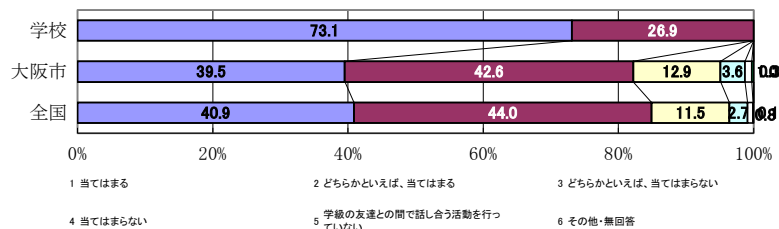
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

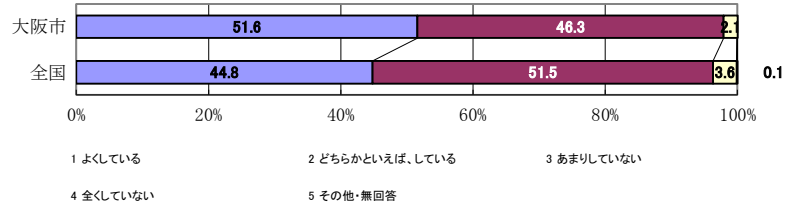
質問番号

質問事項

17

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

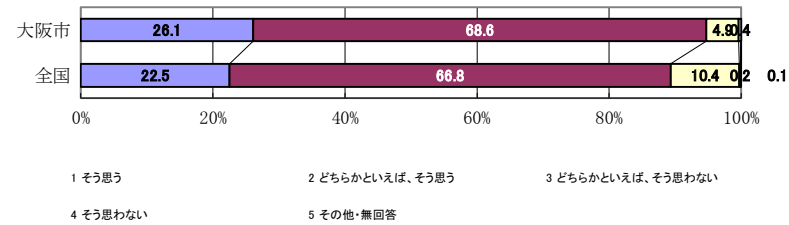
学校 「どちらかといえば、している」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

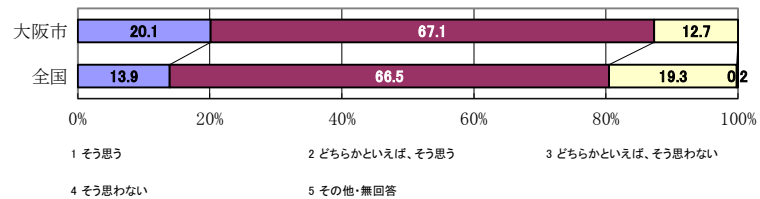
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

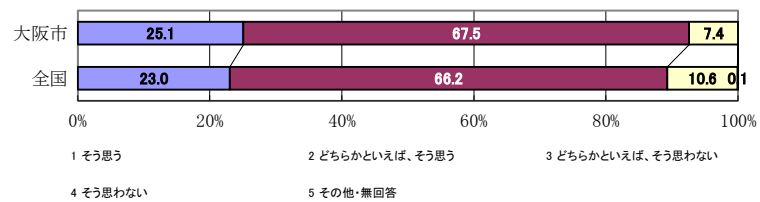
学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

